

平成29年度 東信地区図書館教育研究大会 [実施報告]

- 1 研究テーマ 「一人ひとりの学びを支える学校図書館のあり方」
- 2 主催 長野県図書館協会 長野県図書館協会小中学校部会
長野県図書館協会小中学校部会上小支部
- 3 期日 平成29年11月17日(金)
- 4 会場 上田市立北小学校(公開授業) 上田市立第三中学校(公開授業・全体会・講演会)
- 5 日程

		北小学校	第三中学校
(1)	受付	12:45~13:00	12:45~13:00
(2)	公開授業	13:00~13:45	13:00~13:50
(3)	授業研究会	13:55~14:35	14:00~14:50
	移動	14:40~15:00 第三中学校へ	
(4)	開会行事	15:05~15:15	
(5)	講演会	15:15~16:35	
(6)	閉会行事	16:35~16:45	

- 7 講演会
 - (1) 講師 児童文学作家 和田 登 氏
 - (2) 演題 「だから物語はステキで面白い」
- 8 参加者数
北小学校会場 54名 第三中学校会場 38名 講演会のみ参加 5名
来賓・指導者・役員 8名 計105名

9 参加者からの感想・意見・反省

(1) 公開授業

<北小>

- ・本に囲まれた部屋の中で「誰かのために本を選び、自分もその本の世界に浸りこむ」という姿がととても印象に残りました。図書館の中で、本と関わり、充実した時間を過ごすという経験が、子どもたちの生活と心を豊かにしていくのだろうと思い、図書館教育のあるべき姿を拝見しました。

<第三中学校>

- ・一人一人の生徒が活発に活動に参加し、自分が調べた資料と級友が調べた資料を繋ぐ学習を行っていた。図書館の資料を活用する学習の姿として、また「思考力・表現力・判断力を育てる深い学び」として、大変参考になった。授業で積極的に図書館を利用していくために、司書の先生との連携の工夫が大切になると改めて感じた。

- 授業については、両校の児童生徒の図書館利用の向上に資する授業を提案していただいた。参加者にとっても参考になる授業であった。
- 授業研究会の持ち方については、会場校と相談の上で工夫をしていきたい。

(2) 和田 登 先生の講演

- ・読書から得る力、物語の想像力が子どもたちの生きる力に結びついていくことの大切さについて感じました。まずは自分から読書をし、子どもたちへ繋げていきたいと思います。
- ・一本の線の記憶、教師が褒めたことを一生覚えている事はすごいことだと思った。こちらが何気なく言った言葉でも、子どもたちはずっと覚えている事があるかも知れないと思うと、教職の奥深さを感じる。

○本との出会い、言葉との出会いが、その人の人生を輝かせるというお話と共に、創作者の視点から立った物語の楽しみ方についてもお話を下さり、参加者にも好評であった。質問の時間がほしかったが日程的に難しい。

(3) 運営面

- ・期日日程等、授業や講演会ともよかった。
- ・授業研究会もう少し時間が欲しかった。
- ・受付から授業までの時間が短い。日程を工夫するか指導案を事前送付するかなど考えたい。

○前年度にある程度の枠組みを作ってあったので、それを基に進めることができた。会場校には細かい点まで配慮していただき感謝である。今後、会場校のご負担を少なくするよう工夫していきたい。

○他地区では、一日開催のところもある。日程、予算などを考えると半日開催が妥当である。

10 決算報告

収入 155,000 円 支出 155,000 円

<収入>

科目	決算額	内 訳
負担金	120,000	県図書館協会地区大会負担金
補助金	35,000	上小・東御図書館協会より
合計	155,000	

<支出>

科目	決算額	内 訳
講師謝礼	110,000	謝礼100,000 交通費10,000
会場校費	35,000	北小15,000 第三中20,000
事務局費	10,000	講師への土産 1,556 通信(切手) 600 資料送付用袋 556 大会案内用紙 1,446 講演会資料用紙 5,842
合計	155,000	